D.D.No. 3026 原田的另下三回却放萃不不下了

其処で十月二十日の五相会議の要領と云ふのは自分は總理から極秋で活されて「公解に 傳へてくれ」と云ふのは

- 人國際由係に由しては外交工作により年和的に我方針の貫徹で計ること、し出来得る限り衝突を避くるに努むること
- 2 国防費に関しては他国よりか脅威は受けず 外倫は影ることなる正期すると共に我國力 1- 調和せしもるに留意すること
- 3. 国内的題に就ては各有主管の難務に邁進すると共に干渉者向の協議さ進むること、しかて国民生活の安定を図り国力充実を期すること